

釧路工業高等専門学校地域振興協力会

# 会報

第5号

平成19年（2007）7月

「通常総会・役員会・懇親会開催」

6月27日(火)、第3回総会が釧路キャッスルホテルで開催されました。

釧路高専校長、釧路市経済部長に来賓としてご臨席いただき、企業会員及び釧路高専関係者等、約70人が出席しました。

設立から3年目を迎え、釧路高専に対する地元企業の期待が高まる中、新規事業等を含む事業計画案及び予算・決算案が承認されました。

総会終了後は、引き続き懇親会も開催され、地域に根ざした産学連携の更なる発展が期待されます。



## 目次

- ・「会長挨拶」 会長 島本 幸一…………… 2
- ・「地域と連携した実践的教育の確立を目指して」  
釧路高専校長 岸浪 建史…………… 2
- ・「釧路市挨拶」 釧路市経済部長 生島 修二…………… 3
- ・「平成18年度事業報告」…………… 3
- ・「平成19年度事業計画」…………… 4
- ・トピックス＜事業紹介＞  
「専攻科学生特別研究発表会開催」…………… 4  
「MADE・IN・くしろへのロボコン参加」…………… 5
- ・会員と釧路高専教職員との共同研究公募のご案内…………… 6

## 「会長挨拶」

会長 島本 幸一

本日は、19年度の釧路高専地域振興協力会の総会を無事終わらせていただきありがとうございました。皆さんにお礼を申し上げます。

また、岸浪校長先生、釧路市からは生島経済部長にお忙しいところお越しいただきまして、本当にありがとうございました。

協力ができて3年目を迎えるわけですが、少子化が進んでいるなか、釧路市内の4つの高校の間口も漸減するというように聞いております。釧路高専も学生の確保等々に向けて大変な時代を迎えるのだと予想しているところです。釧路高専は、申すまでもなく地域になくってはならない高専であります。全国で高専が55ありますけれども、ひとつひとつの高専が競争です。そのような中で、地域に密着した釧路高専として、高専のもっている学術的な知識を生かして、ものづくり産業に私達と一緒に共同研究したり、地域にお役に立てる高専にしていきたいと思いますので、なお一層のご理解とご協力を是非お願いいたします。

会員の皆様には、協力会事業遂行にあたりまして、色々と要請など行くことありますが、その節はご協力いただければと思います。

釧路市においては、釧路高専と釧路工業技術センターがある鳥取・大楽毛のゾーンが、釧路のものづくりにとって大事なゾーンになってくると考えますので、併せてご理解をいただきたいと思っております。

本日はお集まりいただき、誠にありがとうございました。



(島本 幸一 地域振興協力会会長)

「地域と連携した  
実践的専門教育の確立を目指して」

釧路高専校長 岸浪 建史

釧路高専地域振興協力会の総会での事業計画等のご審議ありがとうございます。日ごろから協力会の皆様には、釧路高専専攻科の「特別ゼミナール」、低学年進路学習企画「職業ガイダンス」、釧路高専学生の「インターンシップ・エクスターンシップの受け入れ」に関して大変お世話になっておりますこと、この場をお借りして御礼を申し上げます。

高専の教育目標は「創造力のある実践的な技術者の育成」にありますが、その目的を効果的に達成するために、教育再生会議の第二次報告において「高専に対して企業と連携し積極的展開を期待している」ことが表明されております。また、経済財政諮問会議での「経済財政運営と構造改革に関する基本方針（H19/6/12）」においても「高専が地域と連携し行う実践的な専門教育の取り組みを支援するための措置を平成20年度から講じる。（骨太の方針に盛り込む）」ことが明言されております。



(岸浪 建史 釧路高専校長)

18歳人口は120万人程度でここしばらく安定ですが、将来は80万をみながら高等教育システムをどうして行くかが、日本にとっても地域にとっても大きな課題です。そのような状況の中で地域と大学・高専とのコンソーシアムの結成が大事であることが指摘されております。釧路高専においても地域および企業との連携による高等教育システムを今後どうするのが、ここ数年間が正念場であると思っております。

釧路高専は平成16年度に専攻科を設置し、PBL (Problem based Learning) を基本理念とした高等教育システムを稼働させ、修了生は学士の称号を授与することが可能となりました。このことは実質的な釧路における工学系専科大学の誕生を意味します。釧路高

専は道東における科学・技術に関する高等教育機関として機能するために、協力会との共同によって、釧路高専が地域社会の発展により一層の貢献ができるように、また地域社会の皆様と共に釧路高専の教育をより充実したものにできるように努力することをお約束し、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

皆様にはこれまで以上にご尽力いただきたいと思います。

また市としても可能な限りの支援をしてみたいと考えております。

最後になりましたが、協力会の今後ますますのご発展ご活躍、そしてご参会の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げまして開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## 「釧路市挨拶」

釧路市経済部長 生島 修二

釧路工業高等専門学校 地域振興協力会の総会・懇親会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

あいにく伊東良孝釧路市長は、今、日中韓の観光大臣会合に北海道の訪中団の先陣を切って、中国の青島に行っております。観光、物産の面でトップセールスとして奔走しているところです。そのようなことで恐縮ですが、市長に代わってご挨拶を申し上げます。

今日、総会が無事終わりました、引き続き懇親会がこのような盛大に開催されますこと、心からお祝いを申し上げます。島本会長を始め協力会の皆様には、産業の振興あるいは地域経済の発展に日頃からいろいろなご尽力をいただいておりますことを改めて厚く御礼申し上げます。

さて、釧路市ですが、議会の改選後初めての6月定例会市議会が先週の金曜日にやっと終わりました。経済部の関係もご質問いただきましたけれども、やはり多かったのは雇用の問題であります。景気回復の地域格差が今、ずいぶんいわれておりますけれども、雇用に関しては、特に釧路は全国、全道と比較しても相当厳しい状況にあります。私どもも新事業も含めていろいろ対処しているわけではありますがなかなか実効性が思うようにいかないといった状況であります。

そのような中で、雇用問題を考えると一番実効性があるのは、何かということになると企業の誘致であります。

私どもも、全国に情報発信をしておりますし、いろいろな経営者の方々とお会いしますが、そんな中で一番感じるのは、地方にとって技術面での高等教育機関があるということは、釧路をPRする時のすばらしいポイントになっているということをつくづく感じます。

釧路高専は、釧路地方にとってはひとつの研究機関としても、また、人材育成の場としても市民にとっては大きな財産でありますし、非常に有効活用すべき資源であるというように考えておりますので、協力会の



(生島 修二 釧路市経済部長)

## ～平成 18 年度事業報告～

<特別ゼミナール>出席者各 20 名 (釧路高専)

日時 ①平成 18 年 9 月 19 日② 12 月 7 日  
③平成 19 年 2 月 13 日 各 13 : 30

講師

- ①(株)残間金属工業代表取締役 残間 順雄氏
- ②村井建設(株)建築部次長 佐々木文敏氏
- ③サンエス電気通信(株)代表取締役 宮田 昌利氏

<施設見学>出席者 8 名 (釧路高専)

日時 平成 19 年 1 月 29 日 13 : 00

内容 (株)釧路製作所社員による施設見学

<MADE IN くしろ>出席者 9600 名

(釧路市観光国際交流センター)

日時 平成 19 年 2 月 3 日・4 日 10 : 00

内容 地場工業製品の展示及び高専学生による NHK ロボットコンテストの再演

<研究発表会>出席者 115 名 (釧路プリンスホテル)

日時 平成 19 年 2 月 27 日 14 : 00

内容 専攻科学生による研究発表において審査を行い、優秀な研究に対し、会長賞、特別賞が授与された。

<表彰式>出席者 180 名 (釧路高専)

日時 平成 19 年 3 月 15 日 10 : 00

内容 機械、電気、電子、情報、建築学科より推薦された卒業生 5 名に会長賞が授与された。

## ～平成19年度事業計画～

1. 釧路高専を活用した人材育成
  - (1) 会員企業等の要望に基づき、企業の人材を育成（技術支援、技術相談等）するために高専の教員及び施設・設備等を活用する。
    - \*18年度 1社 8名が、実習工場、地域共同テクノセンター等を見学
  - (2) 企業の研修等の講師として高専教員を派遣する。（少人数対応可）
2. 釧路高専との共同研究の実施
3. 釧路高専学生のインターンシップの受入に対する支援
  - \*18年度 23社が協力
4. 平成19年度専攻科学生の特別研究発表会開催及び表彰
  - (1) 専攻科学生特別研究発表会
  - (2) 優秀研究に対する表彰及び会員企業と専攻科学生との懇談・情報交換会
5. 本科卒業生に対する表彰

各学科から推薦された本科卒業生5名に対する表彰の実施

6. 「協定会講座」～会員企業による特別講演の実施
  - (1) 専攻科特別ゼミナールでの講義

専攻科学生に対し地域に根ざした職業観や起業意識の育成を図るため、地域の経営者等による体験・実務的な講義を行うもので、「特命教授」の任命をうけて実施。講師自身の生き立ち、職業に必要な技術・経営理念、人作りとものづくり、技術及び独自のアイデア等の重要性、紹介地域の産業や社会が抱える身近な課題、これから求められる起業家精神など日頃感じていることや実践していることを紹介いただく。

\*平成18年度 3社 3名が協力

- (2) 釧路高専での低学年進路学習企画「職業ガイダンス」での講師

対象：3～4学年の希望学生 約40人程度

\*平成18年度 6社 6名が協力

## ～専攻科学生特別研究発表会開催～

「技術者教育を地域企業が支援し、釧路高専が地域企業に貢献する産学連携の取組」と題した専攻科学生特別研究発表会を平成19年2月27日(火)に開催しました。

発表会は、協定会会員を始め、学生の保護者及び釧路高専教職員等、約120人の出席を得て行われました。建設・生産システム工学専攻及び電子情報システム工学専攻の2年生11人が2年間の集大成となる特別研究の成果を口頭にて、また、1年生20人は現在の研究内容をポスターにまとめて発表し、質疑応答も活発に行われました。また、発表会に併せて指導教員による教員研究シーズ紹介もあり、釧路高専の研究活動の一端を地域にアピールする好機となりました。



専攻科2年生による口頭発表の様子

### 《口頭発表された特別研究テーマ一覧》

#### ★建設・生産システム工学専攻 2年

- ・MTシステムの自動加工への適用に関する研究
- ・旋削負荷計測へのMTシステムの適用－  
廃棄アルミニウム-PS灰造粒体ハイブリッド材の創製
- ・感温磁性流体を用いた小型熱輸送機器に関する研究
- ・北海道漁村における集落空間構造に関する研究
- ・PS灰造粒品を使用したモルタル・コンクリートに関する研究
- ・認知症高齢者グループホームに関する調査研究  
－釧路圏・札幌圏・十勝圏について－

#### ★電子情報システム工学専攻 2年

- ・バイオガス発電プラントの運転実態調査とプラント設計
- ・FDTD法による電磁波伝搬手法について
- ・2輪移動ロボットの走行制御
- ・Zr多層金属薄膜の結晶成長性と抵抗の変化
- ・雑音を含む音声信号からの音声区間の検出

(以上 11名)

## ～交流会及び優秀発表表彰～

発表会終了後の専攻科学生を囲んでの交流会では、釧路高専地域振興協力会長より、最も優れた取組み及び特徴のあるユニークな研究に対しての表彰が行われました。また、2年生全員によるスピーチなどもあり、盛会のうちに終了しました。



専攻科1年生によるポスター発表の様子



(島本会長から表彰された専攻科学生)

## ～MADE・IN・くしろへのロボコン参加～

平成19年2月3日(土)・4日(日)に釧路市観光国際交流センターで実施された釧路地場工業展示会(メイド・イン・くしろ)で、ロボットの操作や小学生対象のものづくり体験コーナーなどを開催しました。これは、協力会から釧路高専に出展の補助を行って実施したものです。

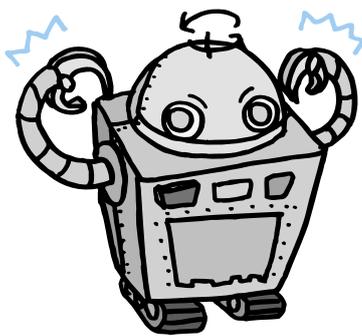
18年度のNHKロボコン「ふるさと自慢特急便」全国大会及び地区大会に出場したロボット2機によるデモンストレーションが開催され、会場に参加している子ども達もロボットの操作体験をしました。全国大会でBEST 8進出「ふるさと自慢賞」を受賞した「韋駄天(いだてん)」,地区大会で健闘した「METAL BOX」が出場し、釧路高専のものづくり技術を市民にアピールし、イベントを大いに盛り上げました。



NHKロボットコンテストのコースでロボット操作を体験することも



市民の前でNHKロボットコンテストと同様なコースで実演する「韋駄天(いだてん)」(左)



## ～会員と釧路高専教職員との共同研究の公募のご案内～

釧路高専地域振興協会は、釧路高専を活用・支援する産学連携事業に取り組み、もって産業技術の振興と地域社会の発展に寄与することを目的として設置されたもので、釧路高専との共同研究の推進をその事業計画に掲げています。

釧路高専では、この共同研究を推進するため、下記のとおり協会の皆様から研究課題を公募し、釧路高専教職員との共同研究を行う事業を企画しました。

詳しくは公募要領をご覧ください。会員皆様には、多数ご応募ください。

### ○対象とする研究課題

釧路高専を活用・支援する産学連携事業に取り組み、もって産業技術の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とした、技術開発並びに新製品開発等を共同研究の課題とします。

### ○応募対象者・団体

協会会員（企業および企業構成員・個人会員）

### ○共同研究にかかる経費について

採択された研究課題には、1件あたり、上限30万円の研究経費を釧路高専が負担します。

ただし、研究経費は釧路高専教職員に配分され、釧路高専の管理のもとに支出されます。

### ○研究遂行と研究成果の取り扱い

共同研究の活動は応募者と釧路高専教職員が共同して進めますが、最終的には釧路高専および釧路高専教職員がその内容について責任を負います

お問合せ先は釧路高専総務課（TEL 57-7203）まで

## ～釧路高専地域振興協会の活動の様子をホームページで公開しています～

地域振興協会会報を始め、会員による特別ゼミナールの様子や地域振興協会の支援により行っている事業を釧路高専の地域共同テクノセンターのホームページで紹介しています。

アドレスはこちらです。<http://www.kushiro-ct.ac.jp/CTC/~test/hiki/> 是非アクセスしてみてください。

企業会員 108 社    個人会員 130 人    (H19.6.26 現在)

### 「編集後記」

釧路高専地域振興協会も会員の皆様のおかげで3年目を迎えました。

総会での皆様の挨拶にあるように釧路の経済も非常に厳しいものがあります。

「ものづくり」を主とした創造力で釧路高専と協会が中心となって、釧路地域の牽引役となり、地域発展に寄与することを願っています。

今後とも本協会の充実のためご協力よろしくお願いいたします。

#### 【釧路工業高等専門学校地域振興協会事務局】

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号  
 釧路商工会議所内  
 TEL 0154-41-4141 (代表)  
 FAX 0154-41-4000

#### 【釧路工業高等専門学校】

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号  
 TEL 0154-57-7203 (総務係)  
 FAX 0154-57-5360  
 URL <http://www.kushiro-ct.ac.jp/>